



「家族」を撮り続けた写真家と、
彼を支え続けた「家族」の
感動実話。

浅田家!

二宮和也
黒木華 菅田将暉 風吹ジュン 平田清
渡辺真起子 北村有起哉 野波麻帆
妻夫木聡

原案：浅田政志「浅田家」【アルバムの手カタ】(冬・春刊)
監督・脚本：中野量太「湯を沸かすほどの熱い愛」
脚本：菅野友恵 音楽：遠藤 康
エンディングテーマ：「S Wonderful」 THE SKA FLAMES

製作：中村 繁、実務製作：藤島弘子、原 浩章、弓野 謙、今野一樹、藤村 淳、藤村 隆
企画：小川 真司、竹内 康幸、井筒 隆二、高村 孝二、中野 浩二、藤村 隆
エグゼクティブプロデューサー：山西 昌弘、村上 英、金剛・プロダクションのり子
プロデューサー：藤村 隆二、アソビエイトプロデューサー・大塚 和典、内山 真由
撮影：山崎 典典、美術：高川 透村、録音：大塚 石由文、装飾：松本 幸治、編集：上野 聡
キャスト：村野 剛、監督：佐藤 清、製作担当：平尾 美穂、ラインプロデューサー：大塚 和典
脚助：松本 幸治、天野 浩哉、VFXスーパーバイザー：大塚 和典、効果：佐藤 隆
衣裳：西野 由起子、ヘアメイク：酒井 夢月、スタリフター：山口 真子、音楽プロデューサー：大塚 和典
宣伝プロデューサー：中野 浩 三浦 康輝、メディアプロモーション：江見 康彦、芝山 唯子
プロダクション：松崎 隆、佐藤 隆
製作プロダクション：東宝映画、ブリックヘッド、パイブリン
配給：東宝 ©2020「浅田家!」製作委員会
asadake.jp
©DMM ©SOL ©SOL

10.2
ROADSHOW [Fri.]

それは、一生に一枚の家族写真。

©2020「浅田家!」製作委員会

2021年 3月15日(月)

取手ウェルネスプラザ
多目的ホール

〈上映時間〉 午前の部 10:30上映 (10:00開場)
午後の部 14:00上映 (13:30開場)

入場料 800円 (税込) ※各回先着150名

- 申込方法：取手ウェルネスプラザへ電話にてお申込み下さい。
- 新型コロナウイルス感染症予防のため、隣り合わせの席をご希望の場合でも、1席ずつ間隔をあけてのご鑑賞となりますので、あらかじめご了承下さい。

新型コロナウイルス感染症予防に関するご案内

- ◆マスク等の着用をお願いいたします。
- ◆チケット裏面に氏名・電話番号を必ずご記入の上、入場時にご提出下さい。
- ◆ご入場の前に非接触型体温計で検温させていただきます。
37.5℃以上のお客様は入場をご遠慮いただく場合がございます。
ご来場の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

チケット申込・お問合せ

取手ウェルネスプラザ TEL 0297-71-2122 (受付時間 9:00~21:00)

「一生にあと一枚しか、

写真を撮れないとしたら？」



彼が選んだのは、一風変わった

「コスプレ家族写真」だった――

「浅田家」「アルバムのチカラ」

『湯を沸かすほどの熱い愛』

主演 二宮和也 × 原案 浅田政志 × 監督 中野量太 笑い と 涙 の 感動 実話!

幼いころ、写真好きの父からカメラを譲ってもらった政志(二宮和也)は、昔から写真を撮るのが大好きだった。そんな彼が、家族全員を巻き込んで、消防士、レーサー、ヒーロー、大食い選手権……。それぞれが「なりたかった職業」「やってみたかったこと」をテーマにコスプレし、その姿を撮影したユニークすぎる《家族写真》が、なんと写真界の芥川賞・木村伊兵衛写真賞を受賞! 受賞をきっかけに日本中の家族から撮影依頼を受け、写真家としてようやく軌道に乗り始めたとき、東日本大震災が起こる――。かつて撮影した家族の安否を確かめるために向かった被災地で、政志が目にしたのは、家族や家を失った人々の姿だった。

「家族ってなんだろう?」
「写真家の自分にできることは何だろう?」
シャッターを切ることができず、自問自答をくり返す政志だったが、ある時、津波で泥だらけになった写真を一枚一枚洗って、家族の元に戻すボランティア活動に励む人々と出会う。彼らと共に《写真洗浄》を続け、そこで写真を見つけ嬉しそうに帰っていく人々の笑顔に触れることで、次第に《写真の持つチカラ》を信じられるようになる。そんな時、一人の少女が現れる。
「私も家族写真を撮って欲しい!」
それは、津波で父親を失った少女の願いだった――。

一枚の写真のチカラを信じて、「家族」を撮り続けた一人の写真家と、彼を信じ、支え続けた「家族」の《実話》。
日本映画界を代表する超豪華キャスト&スタッフで贈る、この秋最高の感動作!!

